

より理解を求める

調和のとれた町」を目指す

地区別
行政懇談会

意見や要望を反映

地区の代表203人が参加

町では対話行政の一環として、町民の意見や要望を行政に反映させ、「活力と調和のとれた町」を目指すため、地区別行政懇談会を実施しました。懇談会は9月28日(南条地区)・10月1日(白浜地区)・2日(日吉地区)・5日(東陽地区)の4日間行われ、各地区の代表203人が参加しました。今年の懇談会は、現在建設中の光スポーツ公園と新東陽病院の視察を行ったのちに、町長が当面する主要施策、特に、4地区の特色を生かした計画等について説明。最後に質疑応答形式により、各集落からの質問並びに要望を伺い、それらに町長及び各課長が回答しました。

町長の説明並びに各集落から出された主な意見及び要望と回答は次のとおりです。(内容については要略してあります。)

排水路の整備と道路側溝掃時の残土処理と道路路肩に堆積された土砂の除去が共通の悩み

行政懇談会の席上、斉藤町長が21世紀を迎えるため、生活基盤の整備を始め、雇用の場の確保を図るための開発計

画、余暇時間の増大等に対処するため、運動及び学習機会を提供など、今後計画している主要施策を地区別に説明。特に、南条地区は、海老川沼の開発とゴルフ場の状況について、白浜地区は、複合スポーツ施設の建設を検討中ということについて、日吉地区は、第2期工業団地の開発計画について、東陽地区は、図書館の建設計画について具体的な説明がありました。

また、各集落から出された

南条

海老川沼の開発を検討

小川台

Q 簡易浄化槽の清掃について

A 清掃にバキュームカーを利用したいということですが、各家庭から出る生活雑排水であり、量的にも少ないので水中ポンプを利用したい。また、今後は浄化槽の取り扱いと汚

意見及び要望で共通していることは、排水路の整備・道路排水溝掃時の残土処理・道路路肩に堆積された土砂の除去対策ということでした。排水路の整備については、平成3年度から新制度(補助金の上乘せ)を確立し、産業課または保健衛生課と各集落で協議を行い、そのうえで対策をすることになりました。道路排水溝掃時の残土処理と道路路肩に堆積された土砂の除去については、各集落で捨て場の確保ができた場合は、町等で重機の手配を行うということになりました。

泥の処理方法及び管理の方法等を総合的に研究したいと思えます。

Q 危険物・生ゴミの収集日の回数増加について

A 危険物・生ゴミの収集はいつでも1市3町で行っている。収集日を増やすことは難しい。しかし、衛生組合と協議し、より効果的な